

新演出 オペラ 森は生きている

原作 サムイル・マルシャーク
(湯浅芳子訳による)

台本・作曲 林光

演出 眞鍋卓嗣

わがままな女王の
気まぐれからはじまった
かごいっぱい金の貨につられた
マツユキ草探し
むりやり冬の森へ行かされた
〈むすめ〉が出会ったのは
〈時間をつかさどる自然のまもり手
一月から十二月まで 十二人の〈月の精〉たちだった
「もえろ もえろ あざやかに」
月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで
〈むすめ〉はなにをもらったか？ 女王はなにを学んだか？



1992年

演出：岡村春彦



2005年

演出：高瀬久男



2012年

演出：大石哲史



そして2021年...

こんにやく座創立50周年記念第一弾

新演出：オニケストラ版 東京初演

オペラ 森は生きている

2021年2月19日(金)～24日(水)

世田谷パブリックシアター

同年秋よりピアノ版公演可能です!

1992年の初演より毎年上演を重ね、通算上演回数1200回を超えるロングラン作品。2021年こんにやく座の創立50周年を記念して、オペラ『森は生きている』が新しく生まれ変わります！一度聞いただけで思わずろずさみたくなるような心躍るメロディや、自然を描写したみずみずしく、かつ力強い音楽が、表情ゆたかに奏でられます。人間の本質、自然の摂理を内包した奥深い世界を表現していながらも、こどもから大人まで、世代を超えて一緒に楽しめるオペラです。